

平成29年度 政策づくり塾

第1回活動報告（開塾式）

平成29年5月12日(金)、6期目となる政策づくり塾が市民塾生6名・市職員塾生6名の合計12名でスタートしました。多々見市長の挨拶に始まり、窪田塾長による講義、グループディスカッションなどを行いました。政策づくり塾は、来年2月下旬まで12回程度の活動を予定しています。

市長挨拶(要旨)

◆舞鶴市では平成27年度から『舞鶴版地方創生』の実現に向けて取り組みを進めており、『「交流人口300万人・経済人口10万人」都市・舞鶴』を目標に掲げ、「心豊かに暮らせるまちづくり」「安心のまちづくり」「活力あるまちづくり」を重点事項として進めているところである。

◆平成27年度は、高速道路網の完成や京都舞鶴港の機能強化など、交通インフラが整備されることから基礎固めの年と位置付けた。平成28年度は、本市が大きく飛躍する「飛躍元年」・基礎固めとして整備した環境を活かして具体的に行動する「行動元年」の年、そして本年度は、これまでの取り組みを更に「創意工夫で推進」する年と位置付け、市政をさらに発展させたいと考えている。

◆リーダーは目標を掲げるべきであり、達成するためには職員同士で情報共有し、いかにして市民の皆さんに発信していくかが重要である。さらに、それをどう評価していただくかといったキャッチボールが重要と考えている。また、施策については、最低でも3分の2、できれば4分の3の市民の皆さんの理解を得るものでなければならない。

◆まちづくりは市民の皆さんの手を借りなければできない。行政の様々な取組を学んでいただき、まちの発展や皆さんの会社・組織のために役立ててほしい。



▲市長と一緒に記念撮影

窪田塾長講義～政策づくり入門～

◆活動のポイント

>行政が行う「政策」とは、地域に必要なが自然には手に入らず、民間企業等では供給されないものを供給することである。

>必要性を厳しく見極めること、予算(税金)をなるべく使わないこと、効率性を考える(人員、時間を使わない)ことが重要。

>民間とは異なり効果は調査しないと分からないので、政策の有効性をしっかりと調査し、客観的に評価することが必要。

>政策づくり塾では地域公共活動を実践するが、活動にあたっては、民間・公共の部門を超えたネットワークが必要で、市民塾生と職員塾生が力を合わせてグループワークに取り組むことが重要である。

>政策力は正しい知識と経験によりレベルアップする。小さなことでも、こんなことがあれば盛り上がるといったことを考えてみてほしい。



▲熱のこもった講義を行う窪田塾長

グループディスカッション

「舞鶴市の良いところ」をテーマに、3つのグループに分かれてディスカッションし発表を行いました。短い時間の中、それぞれ初対面で緊張しながらも「他のまちにはない舞鶴ならではの歴史がある」「海と山を活かしたシチュエーションが魅力」「交通の便が良くなった」などの意見が出ました。

今後は、グループワークにより政策を企画・立案し、実践していくことになります。



▲グループワークの様子

第2回活動

6月9日(金)18:15～20:15 舞鶴市役所 202会議室

内容:「舞鶴市の地方創生にむけた市の取り組みについて」ほか講義